



土壌の蓄積リンを積極活用！ 春まき小麦の新しいリン酸施肥



概要 Abstract

- ✓ 土壌にリン酸が多く蓄積した現在、リン酸施肥量はこれまでの半分以下にできる。
- ✓ 養分収支と収益性を考慮した新しいリン酸施肥指針を定めた。

成果 Results

- 有効態リン酸が10~20 mg/100gの場合、リン酸施肥量は**これまでと同量** (表1、図1)。
- 土壌型に関わらず、有効態リン酸が30 mg/100g以上あれば、リン酸**施肥なしで十分** (図1)。
- 有効態リン酸が高い圃場でのリン酸**多肥は収益性悪化** (図2)。

表1. 北見農試における収量とリン酸収支
(2カ年平均、火山性土、有効態リン酸15~19 mg/100g)

処理	リン酸施肥量 (kg/10a)	収量 (kg/10a)	同左比	リン酸収支 (kg/10a)
なし	0.0	281	92	-4.3
1/4	3.8	302	99	-0.7
半量	7.5	311	102	3.0
標準	15.0	305	100	10.6

均衡

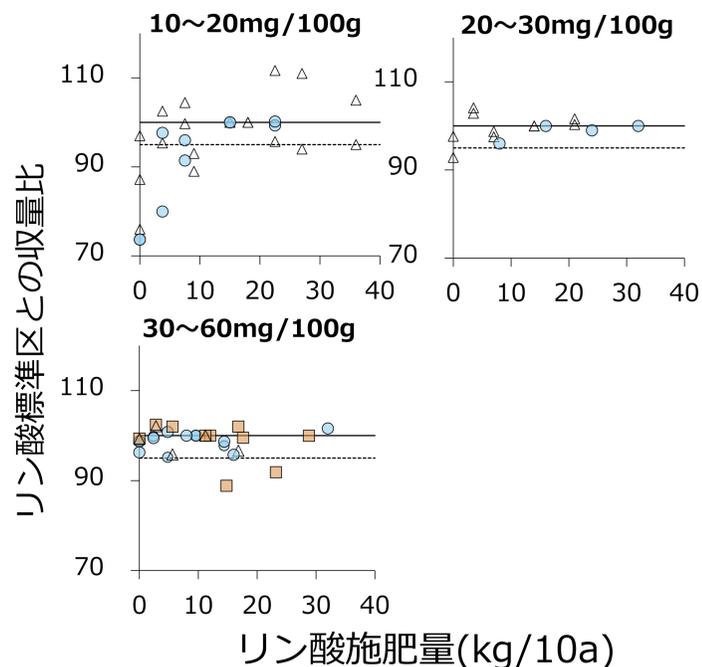
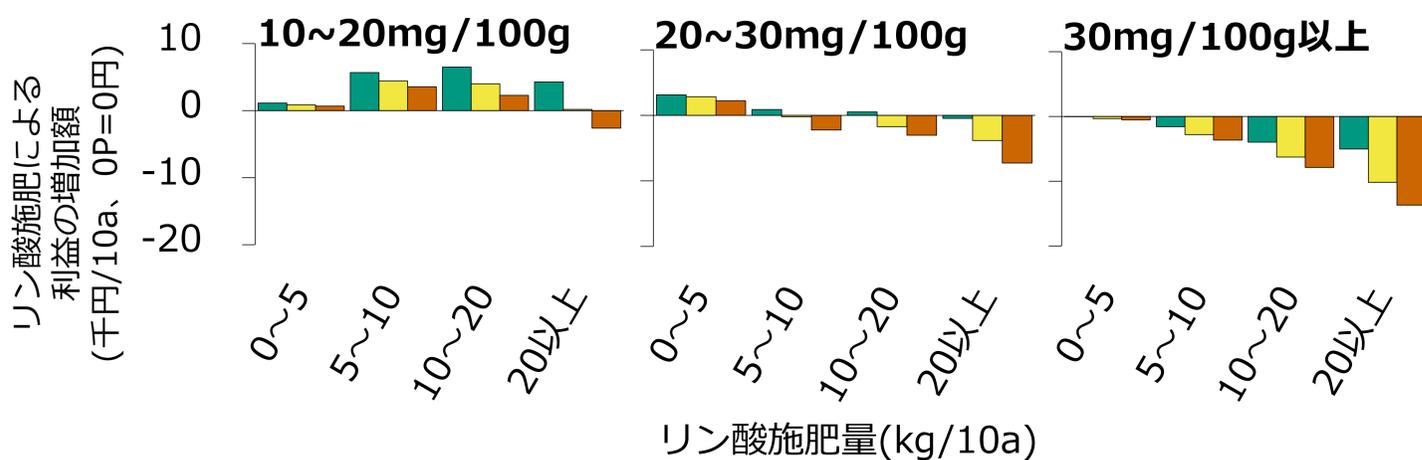


図1. 土壌の有効態リン酸別のリン酸施肥量と収量の関係



リン酸肥料費
(リン酸1 kgあたりの価格)

- H29~R1平均 (270.2円)
- R4~R6平均 (430.6円)
- H29~R1の2倍 (540.4円)

図2. 土壌の有効態リン酸別のリン酸施肥量と収益性の関係

表2. 土壌中の有効態リン酸含量に応じた新しいリン酸施肥指針

有効態リン酸含量 (mg/100g)		10~20	20~30	30~
有効態リン酸10~20 mg/100gに対する施肥率 (%)		100	50	0
実際の施肥量 (kg/10a)	火山性土	15	8	0
	低地土	12	6	0
	台地土	14	7	0

普及 Dissemination

- ①春まき小麦のリン酸施肥量を決める際に参考にできる。
- ②本成果は低地土、台地土、火山性土における「春よ恋」の試験結果に基づく。
- ③長期的なリン酸減肥による有効態リン酸への影響は不明であるため、**定期的な土壌診断**に努めること。

連絡先 Contact

北見農業試験場
研究部 生産技術グループ
0157-47-2565
kitami-agri@hro.or.jp